

# C'est très bon! Vol.128 Boulangerie

C'est TRÈS BON

～おいパリの通信～

2014. 9. 29

Kaori Onishi

フランス便り② 今回はフランスに来て感じる日本のちよと  
けの違いについて書いています。野菜大好きな牛乳にして  
新鮮な野菜の手に入るマルシェが近くにあるのがうれしいです。今日はカボ4冊のホウレンソウを  
作り料理していたのですが、日本のかぼちちと違って、ピーマンにはならず、煮るとせんべい状  
になり牛乳とでは混ぜる合間に不思議なスプーンを作っていました。しらす系のリーフや  
なす、じゃがいもいろんなものがしかりとていうか煮てもくずれないです。自己主張するフランス  
人の様に、野菜もしかり味がしてしきりてはなな日本みたいにもちあかたなと思  
ちかました。日本ではパン屋であつ天板やパンエツか式時 軍手を使うのですが、フランス  
には軍手がありません。1日1000本以上半量 バゲットは素手でつかんでカゴに入ります。  
カゴにバゲットを入れたら出たのくり返しなので「あつ!!」なんて言うヒとはな  
カゴに入らないです。入らないで先に直めなから... なな最近年になつちな  
てのケガが多いななと思つたのですが、焼けたバゲットのケツでケケて居たり  
です。フランスの家の窓にはアツ戸はありません。見はらしはて気持ち... け、ちちな  
虫とかも入て来ます。ちち虫も入て居る... 日本では見たてな様な不思議  
な姿をした虫と家の中で格闘しています。みなどうして居るだつ? 振り返つて見れば、人は  
一本道なたなな最近強く思つます。す、フランスにあつたパン作りを学ぶために毎年どこかの  
パン屋で研修生として学校へ行つたりして、今こうしてフランスで生活し働いて居る自分が居る。  
パン屋の重労働の仕事も、ここに居たなな... と思つて感謝の気持ちがあつて居ります。  
私のトボン最終日にトボンスタッフみんなで送別会をして居る(いつらつたか... 会え...)  
その時モリがうぐいで演奏して居るまに歌をうたつて居ました。とつて僕の心な  
歌でした。今日も果てなく続くバゲットの分割、成型(機械で生地をかき、エツに  
通して作業)をして居る時、そのまにこの歌を口ずかすと、とつて笑顔になつて僕が  
軽くなつた。この歌をてこにみんなのこも思つ出された。今、新しい環境の中  
深い羊の人がいない私にして、長年共に働いたトボンのみんなのこを大きな  
支えて居るこに気がしています。みんなのやさしさに包まれてみんなのこはなな  
私の前に進む大きな力になつて居ます。常に考つて感じながら仕事を居るこ  
を感えています。職場の中のフランス語は早く聞けるな、まだうまに表現できない私  
にして、今まで積み上げた技術と経験フランス考つ、感じるこが常に必要だ。  
文字等に働いてお金をもらうわけだから、言葉の面のマツとを土埋め合わせなして居  
ないから。考つ、感じて行動するこは人生を生きるとして一番大切なこだ  
思つます。僕の奥底で感じているこは正しい。思つ、つたは必ずつた。ては神様の  
本気で居るこがあるから強い決意は、必ずつた。そんな気がしています。 K.O.